若手経営者が未来を拓く

製品開発　力の源泉　販路開拓

中小経営、時代の変化に即応

若手経営者が未来を拓く―。リーマン・ショック、東日本大震災と10年以上にわたってデフレ経済が続く日本に未曾有の危機が押し寄せた。そして今は欧州金融不安に端を発した経済不安。先が見通しにくい中で、中小企業は果敢に製品開発と販路開拓に汗を流す。力の源泉として欠かせないのは若さ。東京と横浜で活躍する5社の若手経営者に事業環境や今後の展望について語ってもらった。

ハタノシステム 専務
波多野　裕一氏

井口機工製作所 取締役
井口　良治氏

千葉精螺 社長
千葉　吉功氏

国内回帰の流れますます強く

―「若手経営者が未来を拓く」をテーマに、集まっていただきました。ひとくちに厳しい経済環境と言いましても、自社が置かれている業種や地域によって、状況はさまざまだと思います。自社の紹介を含めて、まず業界環境からお聞かせ下さい。ハタノシステムの波多野裕一専務からお願いします。

波多野氏　当社が手がける非常用発電機は特殊な業界で、新製品も例えば20年間登場していないなどサイクルがとても長い。非常用ということで法律での規制もあり、景気の波もどちらかといえば緩やかで、良く言えば安定しているし、悪く言えば停滞している。ただ、今後、蓄電池の開発が進み、性能が上がり価格も下がった場合には、非常用発電機の有力な代替品になるかもしれないし、蓄電池以外の代替品も登場するかもしれない。当社と関わりそうな製品を勉強し、時代の変化に対応できるようにしたい。

―東日本大震災では、急な受注もあったとのこと。一つの商機を迎えているのかもしれませんね。井口機工製作所の井口良治取締役はいかがですか。

井口氏　当社は立体駐車場や生産設備における回転機構として利用されるターンテーブルと主に搬送部品として用いられるボールトランスファーが2本柱だが、ターンテーブルが好調だ。価格競争が続いているものの、今期は過去最高益の見通し。ターンテーブルの売り上げがボールトランスファーを上回りそうな勢いだ。東日本大震災の影響をあまり受けておらず、サプライチェーンが寸断されて部品が一時期届かなかったことはあったが、業績を伸ばすことができている。

―千葉精螺の千葉吉功社長にお聞きします。

千葉氏　当社が所属するネジ業界では、企業が徐々に淘汰(とうた)されてきている。理由は職人の高齢化による後継者不足と、主に中国などの新興国へ仕事が流れてしまっていることだ。特に海外流出の面で、中国は人件費が安いので全量検査ができ、お客さまの元に不良品がいくことがとても少ない。その意味で品質が日本に追いついてきている。とはいえ最近は中国の人件費も高騰してきており、以前ほどコスト面でうまみがなくなってきている。いったんは海外に流れた企業が当社に戻ってくるケースも見受けられる。材質や耐久性は当社をはじめとした日本製の方が圧倒的に優れている。一時期は落ち込んだが、今後は国内回帰の流れがますます強くなるのでは、と期待している。

―サテライトオフィスの原口豊社長はいかがですか。

サテライトオフィス 社長
原口　豊氏

クラウド照準■新規分野開拓

原口氏　当社のようなIT業界の動きは速い。米IBMが席巻した大型のホストコンピューターの時代から米マイクロソフトが業界を制覇したパソコンの普及期を経て、現在はネットワーク経由で情報システムなどを提供するクラウドコンピューティングが急速に広がっている。クラウドサービスをリードするのが、米グーグルと米セールスフォース・ドットコム、米アマゾン・ドット・コムの3社。当社はグーグルとアマゾンのクラウドサービスを提供している。企業ではデフレに伴うコスト削減に加え、東日本大震災を教訓に災害対策としてクラウドサービスへのニーズが高まっている。例えば自社のデータを安全に管理するため、IT企業のデータセンター（DC）に預ける企業が増えてきた。クラウドサービス市場が今後1―2年に一気に伸びるとみており、クラウドはいずれインフラとして定着する。

―皆さん、社業は比較的順調のようですね。田辺ホールディングスの田辺光社長も好調とうかがっています。

田辺氏　当社は主力事業として工業用高圧ガス関連事業を手がけている。モノづくりを行う製造業にとってガスは不可欠だが、歴史的な円高などを背景に工場の海外移転が加速している。工業用ガスの国内市場は横ばいこそあれ、拡大は見込めないだろう。今は供給過多となり、同業者間の競争が激しくなっている。

そんな中で我々は大手のガス供給会社ができないニッチ（すき間）分野で事業を展開している。ガスを供給するだけなく、顧客のニーズに合った付加価値の高いサービスに努めている。例えば、顧客の製造現場に小型ガス発生装置を導入している。ガスが足りなくなればユーザーのところでつくれるため、従来のようにガスボンベを注文することが不要になる。顧客は手続きの煩雑さやコストを軽減できる。

顧客のニーズに合ったサービスの提案と保守、ガスを安定供給できる体制を整えている。自動車や半導体の製造分野だけでなく、食品業界や研究機関、大学など新規分野にもサービスの幅を広げている。

26・27面に続く

田辺ホールディングス 社長
田辺　光氏

司　会
日刊工業新聞社
渡辺憲久

東京支社 特集

紙上座談会出席者

（順不同）

▷ **井口機工製作所**（東京都練馬区）
取締役　井口　良治氏（32歳）

▷ **サテライトオフィス**（東京都江東区）
社長　原口　豊氏（45歳）

▷ **田辺ホールディングス**（横浜市西区）
社長　田辺　光氏（48歳）

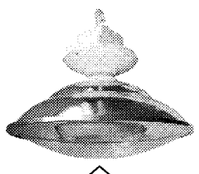
▷ **千葉精螺**（東京都葛飾区）
社長　千葉　吉功氏（34歳）

▷ **ハタノシステム**（東京都目黒区）
専務　波多野　裕一氏（35歳）

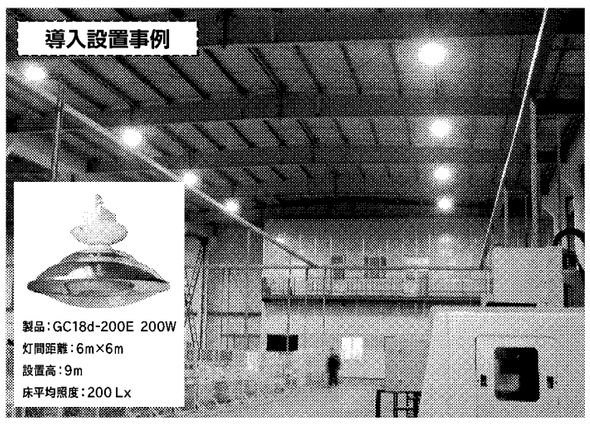
司　会　日刊工業新聞社
東京支社編集部長　渡辺憲久

水銀灯からのコストダウンをお考えなら、無電極照明をおすすめします！

電力会社による料金値上げ、求められる企業の環境対応などにより、倉庫・工場等の高天井照明を従来の水銀灯から見直す動きが盛んになってきました。
セフティデンキは水銀灯の代替照明として、高い省エネルギー性能や高い照明性能を有する無電極照明をご提案いたします。

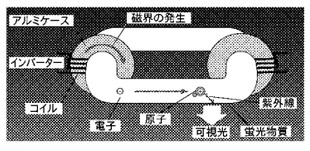


PSE取得済



他にガソリンスタンド、公共の連絡橋や高層タワー等、また海外では街路灯や空港など高所のためランプ取り替えの困難な箇所への採用実績があります。

無電極灯の特長

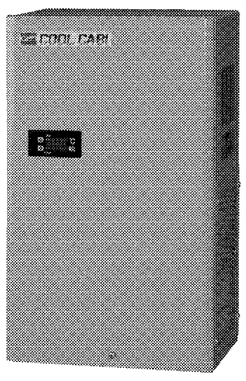


「長寿命」（約10万時間）
「省電力」（水銀灯の約1/2）
「高性能」（高演色、瞬時点灯、空間全体照明）

無電極灯はフィラメント電極がない構造です。そのため電極消耗による寿命の影響がありません。
無電極灯はまぶしさ、ちらつきがなく目にも優しい電灯です。

セフティデンキではさまざまなラインアップの無電極灯をご用意しております

盤用クーラ〔コンプレッサ式〕COOL CABI　クールキャビ　オーム電機(株)



“熱対策はおまかせあれ”

外気中のオイルミストや粉塵の不法侵入は許しません！
盤内の理想環境を保ちます。

ドレン水処理不要

『ドレン水がでません』
先進のノンドレンタイプ

業界初の『ドレン3段蒸発方式』を採用。COP（成績係数）は業界トップクラス！冷たいドレン水を放熱フィンの冷却に利用することで消費電力最大14%カットを実現。

盤外・盤内+35℃ 85%RH 時

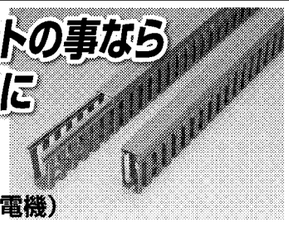
OCA-2300BCD-200Vの場合
消費電力 1302W（最大）
ドレン水 未蒸発時 約¥206,237
最大14%省エネ
消費電力 1118W（最少）
ドレン水 蒸発時 約¥177,091
1台で年間最大 約¥29,146のコスト削減！

①確証　冷却性能
二重箱式熱量計試験方法で、実際の環境に近い状態で試験していますので、計算通りに冷えないなどの問題は発生しません。

②安心　耐久設計
振動に対応した配管設計、オイルや薬品に強い「鉄羽根」を採用しています。故障を未然に防ぐ耐久設計を徹底しました。

③簡単・確実　保守作業
ハニカムフィルタ採用で、洗浄して再利用できるからフィルター交換は不要です。現場に適した運転復帰方法や、メンテナンス時期お知らせ機能で事故を未然に防ぎます。

カッチングダクトの事ならセフティデンキにお任せ！！



HQDタイプ（星和電機）
作業効率アップ間違いなし！

- 上部が繋がっているので強度があり、持ち運び時にたわみにくく、カバーの取付けが容易。
- 通線孔下が底部まで開いているので、T字分岐やケーブルの取り出しが容易。
- 底部に折り取り線があり、長さ方向への折り取りも可能。

パックコーン　高さ45cm・70cm

PLラベル

1シートからの販売も出来ます!!

おかげさまで
創立30周年

株式会社 **セフティデンキ**

本社：東京都中野区松が丘2-33-17　〒165-0024
電話 03 (3950) 3134　FAX 03 (3950) 0081

http：//www.safety.co.jp

ISO14001　全事業所認証取得

■国内販売ネットワーク■　□札幌サテライトオフィス　電話 (011) 223-6100
■株式会社 北関東セフティデンキ　電話 (049) 236-0761
■株式会社 南関東セフティデンキ　電話 (045) 474-5661
■株式会社 信　越セフティデンキ　電話 (0263) 82-8780
■株式会社 西日本セフティデンキ　電話 (052) 772-5000